

めぐみの巡り



清流にめぐる
四季彩かな山泉の里
清流の流れる音が響き渡り
訪れる人を温かく迎え入れてくれる
そんな地域のめぐみと共にある暮らし

水が巡ってめぐみをもたらす縁側が巡って人のつながりを生み
資源が巡って暮らしを支える。巡り巡って、豊かなくらしは続いていく
地域のめぐみを受け入れ巡らせることでくらしを持續させていく住まいの提案

有東木について
歴代を伝えるわさび田
およそ400年前、有東木の村人が、わさび山の深谷一面に生息しているわさびを、集落内の清水池に植えたことが栽培の始まり。階段状に並ぶわさび田と、その急峻な地形を清らかな清流が流る。

気候・めぐみの巡り
およそ400年前、有東木の村人が、わさび山の深谷一面に生息しているわさびを、集落内の清水池に植えたことが栽培の始まり。階段状に並ぶわさび田と、その急峻な地形を清らかな清流が流る。

これからの有東木
有東木は静岡県の山間部にし、過疎化が進んでいるが、観光客は多い。移住を受け入れた家を探し、未来の有東木へ巡らせる。これからの中山間地域はめぐみが巡り、暮らしが続いていく。

春に近付くにつれて水が溶けていく。雪どけ水は川となり有東木にめぐみをもたらせる。

